



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社トクヤマ 上場取引所 東
 コード番号 4043 URL https://www.tokuyama.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横田 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 小林 太郎 (TEL) 03-5207-2552
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	236,543	△0.7	24,754	△2.8	23,780	0.4	18,011	△8.0
2019年3月期第3四半期	238,289	5.4	25,454	△15.6	23,674	△10.6	19,570	166.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 18,426百万円(10.7%) 2019年3月期第3四半期 16,648百万円(7.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	259.32	—
2019年3月期第3四半期	281.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	380,908	177,643	43.7	2,395.45
2019年3月期	379,630	163,525	40.2	2,199.83

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 166,378百万円 2019年3月期 152,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	35.00	—		
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	322,000	△0.8	35,000	△0.7	34,000	1.8	26,000	△24.2	374.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	69,934,375株	2019年3月期	69,934,375株
2020年3月期3Q	478,293株	2019年3月期	482,765株
2020年3月期3Q	69,455,177株	2019年3月期3Q	69,509,684株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

	売上高	営業利益	経常利益	(単位：百万円) 親会社株主に帰属 する四半期純利益
2020年3月期 第3四半期連結累計期間	236,543	24,754	23,780	18,011
2019年3月期 第3四半期連結累計期間	238,289	25,454	23,674	19,570
増減率	△0.7%	△2.8%	0.4%	△8.0%

(売上高)

主力製品を中心に販売が軟調に推移したことにより、前年同期より17億45百万円減少し、2,365億43百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

(売上原価)

石炭や国産ナフサの価格下落による原燃料価格の減少等により、前年同期より24億58百万円減少し、1,637億56百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

(販売費及び一般管理費)

新製品の上市に伴う広告宣伝費の増加や、放熱材関連の研究開発費の増加等により、前年同期より14億13百万円増加し、480億32百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

(営業利益)

主力製品を中心に販売が軟調に推移したことにより、前年同期より7億円減少し、247億54百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

(営業外損益・経常利益)

営業外損益は、前年同期より8億6百万円改善しました。

以上の結果、経常利益は1億6百万円増加し、237億80百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別損益は、前年同期より5億23百万円悪化しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より4億17百万円減少し、233億90百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より13億9百万円減少し、186億82百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より15億59百万円減少し、180億11百万円(前年同期比8.0%減)となりました。

(セグメント別の状況)

第1四半期連結会計期間より、一部子会社の経営管理区分の変更を行っており、以下の前年同四半期比較については、当該変更を反映した前年同四半期の数値で比較しております。

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフアメンティナー				
2020年3月期 第3四半期 連結累計期間	71,165	38,452	66,418	42,341	49,167	267,545	△31,001	236,543
2019年3月期 第3四半期 連結累計期間	74,232	42,053	69,071	40,020	44,308	269,687	△31,398	238,289
増減率	△4.1%	△8.6%	△3.8%	5.8%	11.0%	△0.8%	—	△0.7%

営業利益

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフアメンティナー				
2020年3月期 第3四半期 連結累計期間	11,785	4,474	2,629	2,324	4,867	26,081	△1,326	24,754
2019年3月期 第3四半期 連結累計期間	12,694	6,862	2,222	2,390	2,777	26,947	△1,492	25,454
増減率	△7.2%	△34.8%	18.3%	△2.8%	75.3%	△3.2%	—	△2.8%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、販売数量は堅調に推移したものの、原料価格の上昇及び海外市況の下落により、減益となりました。

塩化ビニル樹脂は、原料価格と販売価格のスプレッドを維持できたことにより、増益となりました。

酸化プロピレンは、主要用途であるウレタン向けの販売数量が減少したことにより、減益となりました。

塩化カルシウムは、少雪の影響により販売数量が減少したこと、及び物流費の増加により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は711億65百万円(前年同期比4.1%減)、営業利益は117億85百万円(前年同期比7.2%減)で減収減益となりました。

(特殊品セグメント)

半導体向けの多結晶シリコンと放熱材は、半導体市場に回復の兆しがあるものの、顧客の在庫調整により販売数量が減少し、減益となりました。

電子工業用高純度薬品は、海外向けを中心として販売数量が回復し、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は384億52百万円(前年同期比8.6%減)、営業利益は44億74百万円(前年同期比34.8%減)で減収減益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、石炭価格の下落により製造コストが低減したものの、販売数量が軟調に推移したこと、及び修繕費等の固定費の増加により、減益となりました。

資源リサイクルは、廃棄物受入数量の増加により、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は664億18百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益は26億29百万円(前年同期比18.3%増)で減収増益となりました。

(ライフアメニティーセグメント)

プラスチックレンズ関連材料は、メガネレンズ用フォトクロミック材料の販売数量が増加し、増益となりました。

歯科器材は、海外を中心に販売数量は増加しましたが、新製品の上市に伴う広告宣伝費等の増加により、減益となりました。

医療診断システムは、臨床検査機器システム案件の受注が増加し、増益となりました。

イオン交換膜は、大型案件の減少により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は423億41百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は23億24百万円(前年同期比2.8%減)で増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,809億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億78百万円増加しました。主な要因は、Tokuyama Malaysia Sdn. Bhd. の工場建設に関する損害賠償金請求額の入金等によりその他流動資産が57億84百万円減少した一方、現金及び預金が46億44百万円、設備投資により有形固定資産が40億93百万円増加したことによるものです。

負債は2,032億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ128億40百万円減少しました。主な要因は、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が83億54百万円、支払手形及び買掛金が19億72百万円、賞与引当金が12億90百万円減少したことによるものです。

純資産は1,776億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ141億18百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が、配当の支払いにより減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ等により138億38百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については、為替や原燃料価格の変動など、不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定範囲内で推移しております。そのため、2019年10月31日に公表した業績予想を据え置きます。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,613	73,257
受取手形及び売掛金	80,358	76,646
リース債権	30	35
商品及び製品	16,458	19,496
仕掛品	9,554	8,730
原材料及び貯蔵品	17,462	15,601
その他	10,554	4,769
貸倒引当金	△94	△87
流動資産合計	202,936	198,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	106,214	108,079
減価償却累計額	△76,233	△77,631
建物及び構築物(純額)	29,981	30,447
機械装置及び運搬具	459,535	463,167
減価償却累計額	△414,813	△419,562
機械装置及び運搬具(純額)	44,721	43,604
工具、器具及び備品	22,106	22,290
減価償却累計額	△19,905	△20,062
工具、器具及び備品(純額)	2,201	2,227
土地	32,296	33,368
リース資産	4,548	4,878
減価償却累計額	△2,237	△2,504
リース資産(純額)	2,311	2,374
建設仮勘定	4,592	8,175
有形固定資産合計	116,104	120,198
無形固定資産		
のれん	208	5
リース資産	71	65
その他	1,693	1,607
無形固定資産合計	1,973	1,678
投資その他の資産		
投資有価証券	21,718	22,135
長期貸付金	2,444	2,353
繰延税金資産	21,091	21,642
退職給付に係る資産	9,796	10,156
その他	3,621	4,335
貸倒引当金	△57	△44
投資その他の資産合計	58,614	60,580
固定資産合計	176,693	182,458
資産合計	379,630	380,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,268	45,296
短期借入金	4,361	3,556
1年内返済予定の長期借入金	12,667	16,433
リース債務	758	803
未払法人税等	3,816	2,622
賞与引当金	2,664	1,374
修繕引当金	3,569	4,410
解体撤去引当金	—	284
製品保証引当金	137	106
損害賠償損失引当金	91	78
事業再構築引当金	233	44
その他	17,680	17,207
流動負債合計	93,248	92,217
固定負債		
長期借入金	109,411	97,291
リース債務	1,767	1,840
繰延税金負債	220	234
役員退職慰労引当金	224	228
株式給付引当金	48	71
修繕引当金	1,546	1,544
解体撤去引当金	—	288
製品補償損失引当金	260	207
環境対策引当金	222	222
退職給付に係る負債	2,149	2,211
資産除去債務	6	6
その他	6,999	6,900
固定負債合計	122,856	111,047
負債合計	216,104	203,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,018	20,018
利益剰余金	121,901	135,739
自己株式	△1,823	△1,807
株主資本合計	150,095	163,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,566	△1,010
繰延ヘッジ損益	△61	△36
為替換算調整勘定	1,672	1,047
退職給付に係る調整累計額	2,640	2,428
その他の包括利益累計額合計	2,685	2,428
非支配株主持分	10,743	11,265
純資産合計	163,525	177,643
負債純資産合計	379,630	380,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	238,289	236,543
売上原価	166,215	163,756
売上総利益	72,074	72,787
販売費及び一般管理費		
販売費	31,090	31,826
一般管理費	15,528	16,206
販売費及び一般管理費合計	46,619	48,032
営業利益	25,454	24,754
営業外収益		
受取利息	75	111
受取配当金	400	345
持分法による投資利益	721	674
業務受託料	572	578
その他	2,001	1,622
営業外収益合計	3,770	3,332
営業外費用		
支払利息	2,055	1,279
業務受託費用	541	613
解体撤去引当金繰入額	—	572
借入費用	884	—
その他	2,070	1,840
営業外費用合計	5,551	4,306
経常利益	23,674	23,780
特別利益		
固定資産売却益	39	20
負ののれん発生益	964	—
投資有価証券売却益	1	4
補助金収入	33	13
保険差益	46	84
その他	31	—
特別利益合計	1,117	122
特別損失		
固定資産売却損	9	16
減損損失	125	—
災害による損失	18	77
固定資産圧縮損	19	1
固定資産処分損	600	414
投資有価証券売却損	—	1
訴訟関連費用	157	—
その他	52	—
特別損失合計	982	511
税金等調整前四半期純利益	23,808	23,390
法人税等	3,817	4,708
四半期純利益	19,991	18,682
非支配株主に帰属する四半期純利益	420	670
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,570	18,011

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	19,991	18,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,768	566
繰延ヘッジ損益	92	24
為替換算調整勘定	△431	△429
退職給付に係る調整額	△167	△212
持分法適用会社に対する持分相当額	△68	△205
その他の包括利益合計	△3,343	△255
四半期包括利益	16,648	18,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,226	17,753
非支配株主に係る四半期包括利益	421	673

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティ				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	73,592	32,654	68,412	38,475	25,154	238,289	—	238,289
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	640	9,399	659	1,544	19,154	31,398	△31,398	—
計	74,232	42,053	69,071	40,020	44,308	269,687	△31,398	238,289
セグメント利益	12,694	6,862	2,222	2,390	2,777	26,947	△1,492	25,454

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフアメニティ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間で125百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティ				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	70,399	30,044	65,958	40,984	29,156	236,543	—	236,543
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	766	8,408	459	1,357	20,010	31,001	△31,001	—
計	71,165	38,452	66,418	42,341	49,167	267,545	△31,001	236,543
セグメント利益	11,785	4,474	2,629	2,324	4,867	26,081	△1,326	24,754

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の変更に伴い、従来「その他」に区分していた子会社の一部について、「ライフアメニティー」へ報告セグメントの変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。